

氏名	佐藤周一		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	乙第719号		
学位授与の日付	昭和50年12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	免疫反応における気管支喘息患者好塩基球の生態観察に関する研究 第1編 抗免疫グロブリンの好塩基球運動能に及ぼす影響 第2編 抗免疫グロブリンの好塩基球形態に及ぼす影響		
論文審査委員	教授 大藤 真	教授 妹尾左知丸	教授 山崎英正

学位論文内容の要旨

第1編 抗免疫グロブリン添加による好塩基球遊走速度の変化を測定した結果、高 IgE アトピー型気管支喘息においては、好塩基球は anti-IgG 添加により運動亢進をきたしたが、anti-IgG 添加にては変化はみられなかった。又低 IgE 難治性喘息患者においては anti-IgG により運動亢進をきたしたが、anti-IgE 添加にては変化なかった。ソバアレルギー症においてはソバ抗原添加にて著明な遊走能亢進がみられた。

第2編 気管支喘息患者末梢血を使用し in vitro で好塩基球形態の観察をおこなった結果、微分干渉顕微鏡下では anti-IgE 添加後、好塩基球は運動亢進をきたし、洋梨状を呈して1部のは hand-shape 様突起を出し、顆粒の放出がみられた。細胞内においては空胞の出現等一連の変化が認められた。位相差顕微鏡においては、anti-IgE 添加後空胞の出現、細胞の膨化等細胞内部の変化は鮮明に観察できたが、顆粒の放出は観察できなかった。

低 IgE 喘息好塩基球に anti-IgG を添加した場合にも同様の形態変化が認められた。

論文審査の結果の要旨

本研究は免疫反応における気管支喘息患者好塩基球の生態観察に関する研究を行ったものであるが、従来十分確立されていなかった気管支喘息における好塩基球の免疫学的研究上に重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。